

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
情報ネットワーク基礎 Information Network Basics		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
亀田和則	講義棟2階	月曜日		授業中に指示します
授業の概要				
<p>私たちが普段利用しているネットワークは、24時間365日稼動している。この授業は、人が休んでいる間も仕事をしているネットワークの構造について学習する。</p>				
授業の目標				
<p>①LANに必要なハードウェアを説明できるようにする。          ②プロトコルの役割を説明できるようにする。          ③インターネットでできることを説明できるようにする。</p>				
授業の方法				
<p>①基本的にはプロジェクタを使用した講義である。          ②スケジュールを変更する際には授業にて連絡する。          ③理解度の確認を4回実施する。          ④留学生は、教科書の漢字・カタカナにふりがなをつける。</p>				
学習の成果（学習成果）				
<p>授業の目標①②③を達成すると、LANでコンピュータが通信するしくみの説明や、ネットワークを安全に利用するための対策を施すことができるようになる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（学習成果、成績評価）			
第2回目	1章 ネットワークって何だろう			
第3回目	2章 基本になるネットワークLAN（LANを構成するもの～LANの規模）			
第4回目	2章 基本になるネットワークLAN（サーバーが提供するLANのサービス～LANの管理）			
第5回目	理解度の確認1と解説			
第6回目	3章 ネットワークのルールプロトコル（デジタルデータのしくみ～インターネットの階層TCP/IP）			

第7回目	3章 ネットワークのルールプロトコル（世界唯一の番号MACアドレス～ネットワークの経路ルーティング）	
第8回目	理解度の確認2と解説	
第9回目	4章 世界中に広がるネットワークへ（インターネットの歴史と発展～ネットワークの門ゲートウェイ）	
第10回目	4章 世界中に広がるネットワークへ（ブロードバンド接続のしくみ～クラウドサービス）	
第11回目	理解度の確認3と解説	
第12回目	5章 インターネットのできるこゝ（インターネットサービスのしくみ～スクリプト言語を使ったWebページ）	
第13回目	5章 インターネットのできるこゝ（動的なWebページ～家電とインターネット）	
第14回目	理解度の確認4と解説	
第15回目	6章 ネットワークを安全に利用するために 16回目の授業で理解度の確認5と解説	
事前・事後学習	予習：授業に参加するとき、日本人学生・留学生ともに授業範囲の教科書部分を読む。留学生は漢字、カタカナにふりがなをつける。復習：授業で不明だった点は必ず次回授業までに調べておく。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート		
調査報告書		
小テスト	100%	理解度の確認が該当する。試験1つあたりの配点は100点/5である。満点となる条件は「すべての答えが正解」である。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「かんたんネットワーク入門」（出版：技術評論社）（著者：三輪賢一）※必ず購入し、第一回目の授業から持参すること。		
履修上の留意点・ルール		
日本人用授業と留学生用授業があるので、履修登録のとき間違えないようにする。 教科書を購入していない学生はこの授業を履修出来ない。 2回の遅刻は1回の欠席となる。		